

校番	065	ホームルーム活動	生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
----	-----	----------	-------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立府中東高等学校	校長	小迫 孝太郎	生徒指導主事	富島 俊宏
-----	-------------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『鵜飼駅の環境整備』

取組のねらい『キーワード 規範意識, 帰属意識を育てる』

本校生徒が最寄駅として利用する鵜飼駅（無人駅）が、タバコの吸い殻やゴミの放置などで汚れ、駐輪場も乱雑で自転車の盗難などもあり、大変荒れた状態となった。電車内のマナーや駅の利用など、本校生徒の状況を見られた方からの苦情も多かった。そのため、駅周辺の町内会などが中心となり、鵜飼駅を清潔で安心して利用できるように平成 26 年度より「鵜飼駅周辺を良くする会」が設立された経緯がある。

そこで、地域と一体となった清掃、植栽などの活動を通じて、地域に信頼される学校にしていきたい。また、生徒の規範意識や帰属意識の向上につなげていきたい。

取組の具体的内容『キーワード 地域貢献』

- 生徒，P T A，教職員で，年 2 回の美化活動。
- 「鵜飼駅周辺を良くする会」と生徒会での植栽。
- 教職員による月 2 回の早朝登校指導。
- 実習作品の展示。
- 駅名看板の改修。
- 花壇の整備。



取組の課題・創意工夫『キーワード 触れ合う』

- 人に見られることを意識して作品を制作する。
- 生徒の作品であることを周知し，物を大切にす気持ち高める。
- 地域の人と触れ合うことで，帰属意識を高める。
- 本校の P R につながる。
- 一部の固定された生徒のみが活動している。

取組の成果（効果）『キーワード 信頼を取り戻す』

- 地域住民（鵜飼駅周辺を良くする会）の意見
 - ・タバコの吸い殻が減った。
 - ・挨拶を返してくれる生徒が増えた。
- 地域からの苦情が減った。
- 美化活動に参加する生徒が増加した。
- 参加生徒の意見
 - ・地域の人からの期待を感じることができた。
 - ・駅の状況が気になるようになった。



今後の展開『キーワード 継続・発展』

- 定期的な整備，植栽を行い，きれいな環境を維持する。
- 地域やPTAとの連携を継続・発展させる。
- 他の駅や公園など，整備する場所を拡大させる。

他校へのアドバイス『キーワード 体験』

- 学校，地域の特長を生かしながら，校内での学習などの活動を校外につなげていく。
- さまざまな人と接すること，作品を制作する側，鑑賞する側という違う視点からものを見ることなど，さまざま体験を通して，人間性の向上につなげていく。